

**Full Speed**

月刊SNSレポート 2021年06月号

Monthly **SNS** Report Vol.023



トピック

03      Facebook

04      Twitter

05      Instagram

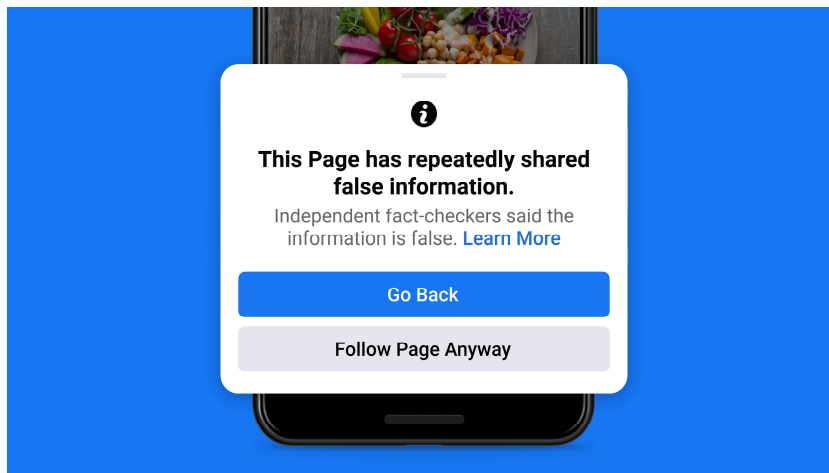
08      LINE

## 【Facebook】 誤った情報が繰り返し共有されないように新たな対策を開始

## トピックス

Facebook社は、独立した第三者ファクトチェッカー団体と提携し、偽情報の拡散防止に取り組んでいます。今回、ファクトチェッカーが誤った情報であると認識したコンテンツを繰り返し共有しているページに対して、新たな機能が追加されるとともに、誤った情報を繰り返し共有する人々に対してより強力な措置を講じることが発表されました。

誤った情報を共有しているページのいいねにはポップアップが



出典 : Facebook

<https://about.fb.com/news/2021/05/taking-action-against-people-who-repeatedly-share-misinformation/>

Facebook社は、中立的な国際ファクトチェックネットワークに認定された独立した第三者ファクトチェッカー団体と提携し、FacebookとInstagramにおける偽情報の拡散防止に真摯に取り組んできました。今回、そのファクトチェッカーが誤った情報であると評価したコンテンツを繰り返し共有しているページに「いいね」をすると「このページで共有された一部の投稿に虚偽の情報が含まれている」といった内容のポップアップが表示されるようになりました。これによって、ページを本当にフォローしたいかどうかについて十分な情報に基づいて決定できるようになります。

さらに、ファクトチェックプログラムを開始して以来、これまではページ、グループ、Instagramアカウント、および誤った情報を共有するドメインに対して強力な措置を講じてきましたが、現在これらの取り組みを一部拡大し、個々のFacebookアカウントに対する罰則も含めたとのこと。具体的には、個人が誤った情報と評価されたコンテンツを繰り返し共有する場合、その個人のFacebookアカウントからのニュースやフィードのすべての投稿の配信を削減するとのこと。

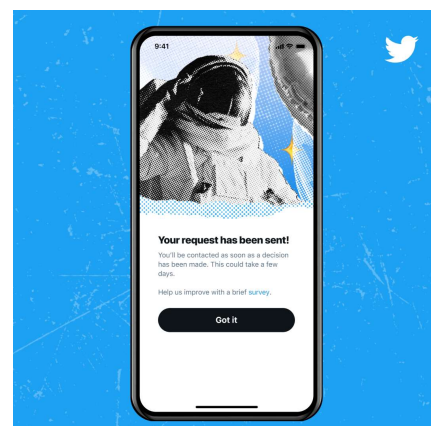
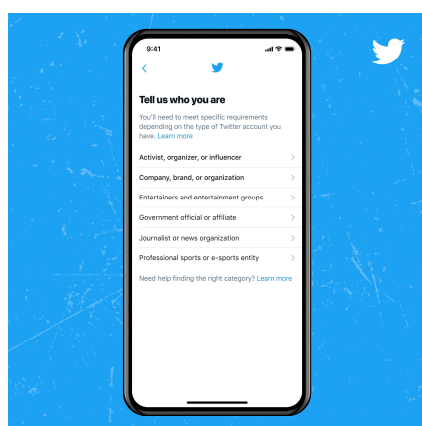
今後、コンテンツの信頼性がより一層重視されることとなりそうです。

## 【Twitter】 Twitterの公式マークの申請が再開

## トピックス

Twitter社は、5月20日から公式マークの申請を再開しました。これまで外部のフォームから申請しなければならなかったものの、今回からはモバイルアプリ内から申請できるようになりました。そして、申請再開に伴い、Twitter社は認証済みアカウントに関する新しいガイドラインを導入。より健全な会話を促進することを目的としたガイドラインとなっています。

公式マークの申請が再開。新しいガイドラインも。



出典：Twitter

[https://blog.twitter.com/ja\\_jp/topics/company/2021/relaunching-verification-and-whats-next.html](https://blog.twitter.com/ja_jp/topics/company/2021/relaunching-verification-and-whats-next.html)

認証条件は下記となっています。

- ①以下の6つのカテゴリーのいずれかに該当していること
  - ・政府機関・企業、ブランド、組織・ニュースメディア、ジャーナリスト・エンターテイメント・スポーツ、ゲーム・活動家、主催者、その他の有識者
- ②プロフィール名、プロフィール画像、確認済みメールアドレス、電話番号が登録されている完全なアカウントであること
- ③過去6カ月以内に使用されたアクティブなアカウントであること
- ④Twitterルールを順守した記録が残っていること

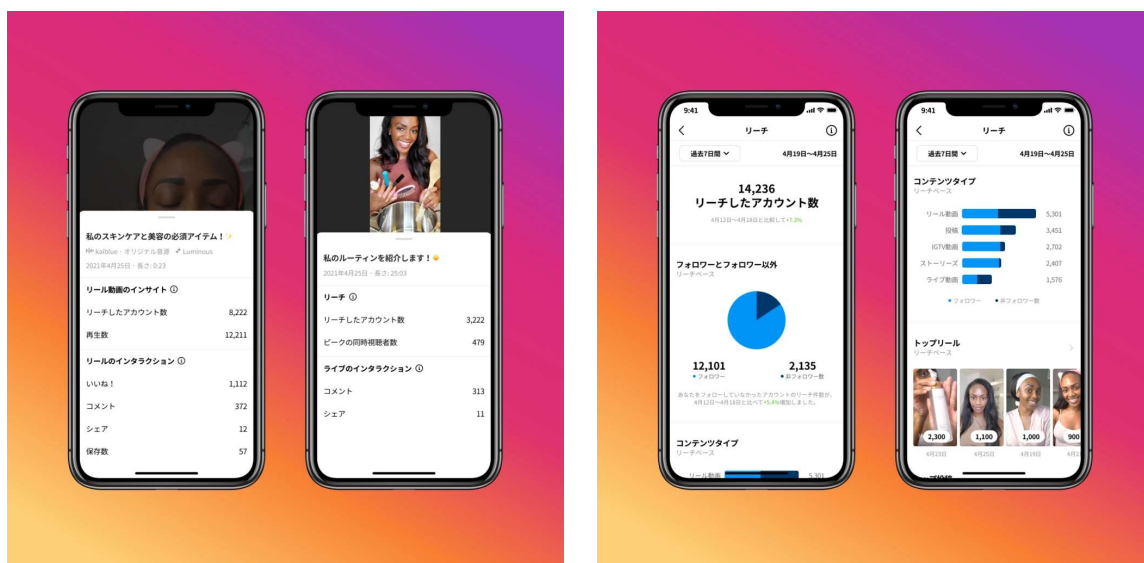
認証申請は、順次 [設定とプライバシー] タブから直接行えるようになります。認証された場合も認証条件を満たしていなかった場合も、申請後1~4週間以内にメールで審査結果を通知するとのこと。Twitter側で誤りがあると思われる場合は、審査結果受領後30日が経過すると再度申請をすることができます。公式マークを申請し、認証済みアカウントとすることでより信頼性を増すことができます。

## 【Instagram】リールとライブ配信のインサイトがアプリ内で見られるように

## トピックス

Instagramはこれまで見られなかったリールとライブ配信のインサイトがアプリ内で閲覧できるようになったことを発表しました。さらに、企業やクリエイターがより効果的にアカウントを運用できるよう、どのフォーマットでの投稿がアカウントのリーチに貢献しているかといった情報もインサイトで見られるようになります。

## リールとライブ配信のインサイトが見られるように



出典：Instagram

<https://about.fb.com/ja/news/2021/05/reelsandliveinsights/>

インサイトは、Instagramのアカウントをビジネスアカウントもしくはクリエイターアカウントに切り替えると利用できるようになる機能で、自身のフォロワーの年齢層や性別、どのような投稿の人気が高いかなど、Instagram運用を成功させるために必須の機能です。これまではアカウント全体、フィード、ストーリーズのインサイトのみでしたが、今回リールとライブ配信のインサイトも見られるようになりました。インサイトで見られる情報は下記です。

## ▼リールのインサイト

- ・リーチしたアカウント数・再生数・いいね！数・コメント数・シェアされた数・保存された数

## ▼ライブ配信のインサイト

- ・リーチしたアカウント数・ピークの同時視聴者数・コメント数・シェアされた数

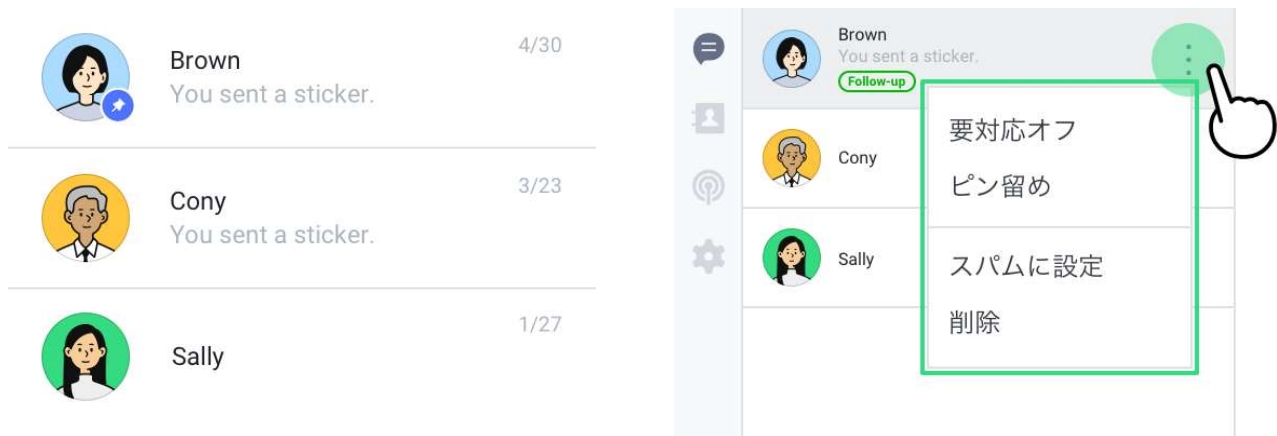
投稿ごとに確認できるインサイトに加えて、プロフィールから表示できる「インサイト概要」に表示されるデータにもリールやライブ配信の数値が反映されます。また、どのフォーマットでの投稿がアカウントのリーチに貢献しているかという情報もインサイトで閲覧できるようになります。さらに、今後数ヶ月以内にインサイトに表示するデータ期間の選択肢も増やすとのこと。ますます多角的な分析が行えるようになりそうです。

## 【LINE】「LINEチャット」2つの機能改善

## トピックス

LINE株式会社は、「LINEチャット」の2つの機能改善を行いました。ひとつめは、よく利用するチャットルームをピン留めできるようにしました。ふたつめは、チャットリスト上で要対応やスパムの設定、チャットの削除ができるようになりました。

## 「LINEチャット」2つの機能改善



出典：LINE

<https://manager.line.biz/announce/20165872?country=JP>

「LINEチャット」は設定画面からチャットを有効にすることで、ユーザーと直接やりとりを行うことができる機能です。チャットの利用画面では、「チャットリスト」「チャットルーム」「ユーザープロフィール」で構成されており、アカウントに対して、チャットメッセージを送信したことがあるユーザーを一覧画面で管理できます。

今回、よく利用するチャットルームをピン留めすることで、チャットリストの上部に表示させておくことができるようになりました。これにより、よくやりとりするチャットを見逃したり、対応し忘れたりといったことがないようにできます。

さらに、チャットリスト上で要対応やスパムの設定、チャットの削除ができるようになったため、既読を付けることなく、それぞれの設定を行うことができます。

よりユーザービリティの高い管理画面となりました。

月刊SNSレポート 2021年06月号  
Monthly SNS Report Vol.023

---

**ご不明点などございましたら**  
**マーケティングコンサルティング事業部**  
**ソーシャルメディアマーケティング部まで！**  
**Mail : [s-consul@fullspeed.co.jp](mailto:s-consul@fullspeed.co.jp)**



# Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”

